

# 令和8年度水源地域未来会議

## - 第3部 -

### ダム等の地域資源を活用した地域振興 の事例紹介

令和8年6月

国土交通省

No	団体名	取組内容
1	青森県西目屋村	水陸両用バスの運行と地酒のダム貯蔵
2	岩手県奥州市	胆沢ダム・奥州湖エリアの魅力と地域資源を活かす官民連携の取組
3	宮城県	ダムのネーミングライツの導入等
4	宮城県大崎市	鳴子ダムを活用したインフラツーリズム
5	秋田県東成瀬村	成瀬の森づくりによる環境活動
6	山形県長井市	水辺空間のオープン化
7	栃木県日光市	ダム湖面を活用した観光施策
8	群馬県長野原町	ハツ場ダムから生まれる新たな賑わいの創出
9	(公財) 宮ヶ瀬ダム周辺振興財団	地域DMOの取組
10	岐阜県飛驒市	関係人口の創出・拡大
11	京都府宇治市	天ヶ瀬ダムの活用
12	広島県安芸太田町	温井ダムを軸とした観光誘客
13	香川県	香川用水施設見学バスツアー等
14	高知県宿毛市	かわまちづくり計画とダムクラ
15	鹿児島県さつま町	河川空間オープン化 鶴田ダム秋の大鶴湖まつり開催

- 西目屋村は、白神山地を源流とした岩木川の上流部にあたり、津軽ダムが立地している村である。
- 平成28年10月に津軽ダム（目屋ダム再開発事業）が竣工したことをきっかけとして、拡大したダム湖（津軽白神湖）を活用した水陸両用バスの運行や津軽ダム見学ツアー等のインフラツーリズムに取り組むことで、地域の活性化や交流人口の拡大を推進している。また、令和6年7月からは、地酒のダム貯蔵を開始。

## ■取組概要

### ○水陸両用バスの運行

津軽ダム水源地域ビジョン策定関係会議での検討等を経て、平成29年4月30日に西目屋村水陸両用バス「ニシメヤ・ダムレイクツアー」運行開始

- ・運行期間：4月下旬～10月31日（毎週水曜日運休）  
※R7～R8はダム湖が国スポ（カヌー競技）の会場となるため、期間を短縮して運行予定
- ・運行便数：1日4便  
※令和2年から国土交通省岩木川ダム統合管理事務所のご協力のもと、ダム見学付きスペシャル運行を実施（毎月1回1日2便）
- ・運行ルート：道の駅「津軽白神」～津軽白神湖遊覧～道の駅「津軽白神」（全行程約1時間）
- ・乗車人数：平成29年度～令和7年度累計75,169人

### ○地酒のダム貯蔵

年間を通じて気温が安定して低く、紫外線の届かないダム監査廊で地酒を貯蔵。低温貯蔵の熟成効果による付加価値化を図っている

## ■施策イメージ



【ダム見学付き水陸両用バス】

【地酒のダム貯蔵】

## ■関連URL

<https://www.suirikubus.jp>

## ■担当部署

部署名：西目屋村 企画財政課  
連絡先：0172-85-3080 メール：nishimeya-kikaku@vill.nishimeya.lg.jp

## ■ 要旨

胆沢ダム・奥州湖エリアは、日本オリンピック委員会(JOC)認定の競技別強化センターに認定された「奥州いさわカヌー競技場」をはじめ、豊かな自然や地域資源を有するアウトドアフィールドである。

本市特有の地域資源である「アウトドアアクティビティ」を活用したまちづくりを進めるため、令和6年3月に「奥州湖周辺エリア活用整備構想」を策定。従来の通過型観光から**滞在型・体験型観光への転換と交流人口の拡大を目指した観光振興施策**のほか、カヌー競技の主要国内大会誘致などのスポーツ振興施策の取組を推進していく。



▲関連HP

## ■ 取組概要

### 01 ウォーターアクティビティのメッカ

胆沢ダム下流域の「奥州いさわカヌー競技場(胆沢川)」は、胆沢ダム管理支所の協力のもと、常時安定した水量調節が可能。パドルスポーツのフィールドとして、国内トップクラスの環境が整い、**カヌー主要大会の会場として毎年利用**されている。

近年、ラフティングやSUPを提供する民間事業者も定着しつつあり、同フィールドの**レジャー・観光利用も増加**している。また、地域おこし協力隊OBがカヌージュニアクラブを立ち上げるなど、地域の子供たちに対するパドルスポーツの普及も進んでいる。



カヌージャパンカップの様子

### 02 アウトドアツーリズム拠点施設の整備

胆沢ダム・奥州湖エリアのアウトドアツーリズム拠点施設として「**奥州湖交流館**」を**改修工事**し、令和8年6月にリニューアルオープン予定。情報発信や観光客の受入体制を強化する。

加えて、カヌー競技大会の誘致や競技者育成のため、トレーニングジムやシャワールームを設置し、競技者の受入体制も強化する。



拠点施設である奥州湖交流館

### 03 民間連携の手法による水源地域振興

カヌー競技大会の運営や、奥州湖エリアへの誘客取組の実施において、官民連携の手法を導入している。

#### ▶ ふるさと納税型クラウドファンディングの実施

令和4年度から5年度に実施。2年間で約3億8千7百万円の寄附をいただき、ウォーターアクティビティ活用や環境整備を実施。

#### ▶ 包括連携協定企業との連携

令和5年4月に**㈱モンベルと包括連携協定を締結**。Webやアウトドア情報誌、モンベル直営店での情報発信により、アウトドアに興味のある方に向けた広報活動を実施。



アウトドアツーリズム推進協議会でアイデアを出し合う参加者

#### ▶ アウトドアツーリズム推進協議会の設立

奥州湖周辺エリア活用整備構想を推進するため、観光・アウトドアアクティビティ関連事業者を中心とした組織を、令和8年3月に設立。滞在型・体験型観光による誘客を促進する。

#### ▶ ハイブリッドダム試行運用による地域振興(全国初の事例)

胆沢ダムの融雪時自然越流水力発電から得られる安定的な資金を、積極的に活用する。

### 04 アウトドアツーリズムのモデルルート設定

**パドルスポーツ、トレッキング、サイクリングのモデルルートを設定**。令和8年2月に、ルートマップをWeb公開したほか、市内外の観光施設・宿泊施設などにもマップを設置。

- 宮城県では全庁を挙げて歳入確保策に取り組んでいる。ダムという財産(資源)の有効活用とその環境の維持・向上を図るため、**ダムネーミングライツ(ダムに愛称を命名する権利)**を取得するスポンサー企業を募集している。
- 平成23年2月から募集を開始、現在3ダムでスポンサー企業と契約しその収入は**ダムの管理経費に充当**している。
- ダムツーリズムの一環として、特定期間に特別仕様の「**プレミアダムカード**」を配布している。**地域と連携したイベント**であり、ダム付近の協力店舗で提示すると食事代割引等のサービスを受けられる。

## ■ダムネーミングライツ

- ◆ 対象施設：宮城県が管理する11ダム
- ◆ ネーミングライツ料：**年間30万円(税抜き)以上**
- ◆ 契約期間：原則3年以上(契約更新時に優先交渉権を付与)
- ◆ スポンサー対象企業  
地域貢献や緑地保全等を支援するなどスポンサーとして  
ふさわしい企業等 ※宮城県広告等掲載基準、募集要項で規定

## ◆特典(メリット)

- (1) ダム入り口等への愛称を用いたダム名看板の掲出
- (2) ダム堤体等への愛称等の表示
- (3) 周辺道路案内看板への愛称表示
- (4) 県のホームページやパンフレット等による愛称の表示
- (5) スポンサーの希望する日のダム内一部の独占使用  
(年4回まで)



## 【関連URL】

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kasen/su-naming-rights-boshuu.html>

## ■プレミアダムカードによる地域との連携

- (1) 対象ダム：仙台環境開発大倉ダム、  
パシフィックコンサルタンツ長沼ダム、花山ダム
- (2) 実施期間：夏～秋(イベント実施期間は毎年異なります。)
- (3) イベントの流れ



①イベント対象ダムに設置している  
“ラプラスパネル”と一緒に写真撮影

②それぞれの配布場所で写真を  
確認してもらい、プレミアダム  
カードをゲット



③プレミアダムカードを協力店舗  
に提示するとサービス(食事代割  
引等)が受けられる

※宮城県と株式会社ポケモンとの包括  
連携協定により、「ラプラス」がみや  
ぎ応援ポケモンに任命されています。

## 【担当部署】

部署名：宮城県土木部河川課  
連絡先：022-211-3172  
kasen-su@pref.miyagi.lg.jp

- ◆ 鳴子ダムを活用したインフラツーリズムは、2016年、土木学会「選奨土木遺産」の認定を受けたことで、ダムの歴史的・技術的価値が再評価され、観光資源としてのポテンシャルが高まり、「国土交通省インフラツーリズム魅力倍増プロジェクト」のモデル地区として選定されたことが契機となった。
- ◆ 同プロジェクトは、具体的な取り組みを加速させる大きな推進力となり、みやぎ大崎観光公社や地元有志によるアクティビティチームなど、多様なステークホルダーとの連携体制を構築した。



## 概要

### 新しい旅のカタチ「インフラツーリズム」

#### 地域と紡いだ「選奨土木遺産」

東北初の認定！  
**選奨土木遺産**

「鳴子ネットワーク」が中心となり、官民一体の運動を展開し、認定に大きく貢献されました。



#### 親子に大人気！「環境学習イベント」

環境学習イベント  
**あつまれ！  
鳴子ダム2023**

ダム湖ツアー、木登り体験、イワナのつかみ取り大会等



#### 鳴子ダムすだれ放流限定ツアー

お客様の心に残る体験を  
一般社団法人

**みやぎ大崎観光公社**

鳴子ダムの普段立ち入れないエリアをご案内するオリジナルツアーを提供しています。



#### 2025 完全予約制で復活しました！

2022年8月に認定！  
**日本夜景遺産**

第17回「日本夜景遺産」において、鳴子ダムが「ライトアップ夜景遺産」の部門で認定されました。



#### ダムの湖面を活用した新しい体験！

豊かな地域資源に着目し新しい滞在の形をつくる

**鳴子温泉もりたびの会**

鳴子ダムをはじめ、鳴子温泉地域の豊かな自然に着目し、自然、文化、環境をテーマに魅力ある観光コンテンツの開発と、その事業化に向けて取り組まれています。



#### ダムの湖面を活用した新しい体験！

鳴子温泉地域の有志で結成

**鳴子アーススポーツ  
プロジェクト**

SUPで鳴子ダムの魅力を発信しています。



## 連携・施策イメージ

国民保養温泉地、鳴子温泉郷。鳴子ダムの活用によるインフラツーリズムで、持続可能な水源地域を目指している。



鳴子ダム  
水源地域ビジョン



大崎市産業振興計画  
大崎市観光振興ビジョン

加速する人口減少、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）への対応等を踏まえて  
**訪れたい観光の振興を重点プロジェクトに位置づけています。**

観光客の多様化するニーズへの対応と環境整備

観光コンテンツの充実と滞在交流型観光の推進

魅力の発信と情報発信力の強化 など

多様なステークホルダーとの連携体制により、持続可能な水源地域を目指します！

## 関連URL

<https://www.city.osaki.miyagi.jp/shisei/soshikikarasagasu/narukosogoushisho/chiikishinkoka/5/4/3117.html>

## 担当部署

部署名：大崎市鳴子総合支所 地域振興課  
連絡先：0229-82-2111 メール：n-chiiki@city.osaki.miyagi.jp

東成瀬村は、栗駒山系を源流とする成瀬川の上流部に位置し、建設中の成瀬ダムがある村です。

成瀬ダム建設工事に利用した土地を、自然豊かな森へ再生することを目的に水没予定地の幼木や種子を採取し植樹体験を実施しています。この活動を通じて成瀬ダムへの関心を高め、愛着を深めてもらうイベントです。

## ■取組概要

### ○ 成瀬の森づくり

- ・令和5年度より開始。秋田県内外から参加者を募り、赤滝遊歩道で採取した幼木や種子を、まるごと自然館の「森のほいくえん」へ仮移植する植樹活動を実施しています。
- ・成瀬の森づくり活動は、「成瀬ダム水源地域ビジョン策定」の行動計画事業として掲げています。
- ・将来的には、成瀬ダム周辺の緑化に向け、「森のほいくえん」で育てた苗木を活用します。森林環境教育の一環として、雄物川流域の自治体や教育機関と連携し、環境保護や地球温暖化防止を目的とした植樹体験などの活動を展開していく予定です。

### ・森づくりイベント開催（年2回実施）

#### (1)春開催

幼木採取(ブナ・カエデなど)仮移植場所へ植樹  
※令和7年6月28日開催 参加者18名

#### (2)秋開催

種子採取(どんぐり・ブナの実など)仮移植場所へ  
植え付け  
※令和7年10月18日開催 参加者5名

## ■施策イメージ



## ■関連URL

【成瀬ダム工事事務所】

<https://www.thr.mlit.go.jp/narusedam/>

## ■担当部署

部署名：東成瀬村役場 建設課

連絡先：(0182) 47-3408 メール：Kensetsu-h.vill.higashinaruse.lg.jp

- ▶ 長井市では、長井ダム及びダム湖（ながい百秋湖）を観光の起点として位置づけ、水源地域の賑わい創出と活性化に繋がる取組を推進している。
- ▶ 令和2年2月には、管理ダムでは全国初となる「都市・地域再生等利用区域（水辺空間のオープン化）の指定」を受け、民間事業者による営業が可能となり、地域連携DMOである「一般社団法人 やまがたアルカディア観光局」が実施主体となり、水上アクティビティや見学ツアー等、様々なコンテンツを展開している。

## ■概要

### ○長井ダム 都市・地域再生等両区域

#### ①長井ダム管理支所周辺エリア

（エレベーター棟1F、クロスギャラリー、下流広場）

・長井ダム見学ツアー、ダム堤体ライトアップツアー 等

#### ②長井ダム百秋湖展望所・展望所前広場

・ながい百秋湖まつりの開催（スポット利用）、飲食物の提供及び物品販売 等

#### ③折草沢管理用通路

・水陸両用バスの運行、SUP・水上自転車、遊覧船の運航

#### ④合地沢湖面広場

・三淵渓谷ボートツーリング、三淵渓谷カヌーツアー、SUP・水上自転車

※実施事業については、「長井ダム水源地域ビジョン推進会議」にて審議の上、実施を許可している。

## ■施策イメージ



## ■関連URL

（一社）やまがたアルカディア観光局 <https://arcadia-kanko.jp/>

## ■担当部署

部署名：長井市 地域づくり推進課  
連絡先：（0238）82-8005 メール：n-chiiki@city.nagai.yamagata.jp



- 「河川空間のオープン化」を活用し、ハッ場ダム及びハッ場あがつま湖では様々なコンテンツを展開
- ハッ場ダム及びハッ場あがつま湖を活用した「水上アクティビティ」や「イベントの実施」など様々な取り組みが展開されている。

## ■ 取組概要

### ○ 堤体を活用した取組

#### ① ハッ場ダム点検大放流フェス

ふるさと納税を活用した年1回の放流イベント

#### ② ハッ場ダム見学ツアー

一般公開されていない堤体内部も見学できるツアー

#### ③ やんばスカイラン

フーチング階段を駆け上がる階段登りレース

### ○ 湖を活用した取組

#### ④ 水陸両用バス

群馬県初の水陸両用バス、大迫力「スプラッシュ・イン！」

#### ⑤ カヌー・カヤック・SUP

絶景に囲まれた水上散歩でハッ場グリーンを体感！

#### ⑥ バンジージャンプ

水位が低い夏季限定アクティビティ、高さ45mの絶景ダイブ！

### ◆ 国民スポーツ大会の開催決定

湯けむり国スポ・全スポぐんま2029「カヌー(スプリント)」

競技会場にハッ場あがつま湖が決定！



## ■ 利用実例



## ■ 関連URL

つなぐカンパニーながのはら「ダムオープン化」

<https://tsunacom.or.jp/act/dam/>

## ■ 担当部署

部署名：長野原町 未来ビジョン推進課

連絡先：(0279)82-2229 メール：suigen@town.naganohara.gunma.jp

公益財団法人宮ヶ瀬ダム周辺振興財団は、宮ヶ瀬ダムの建設と並行して、宮ヶ瀬湖周辺地域の振興と発展を図る組織として、平成4年10月に地方公共団体や民間団体の出捐により設立、水源環境の理解促進及び地域活性化の取組を行っています。

平成29年11月には、日本版DMO法人(現 観光地域づくり法人)に登録され、複数の市町村にまたがる地域DMOとして、官民の垣根、地域の垣根を越えた広域的な調整機能を発揮し、観光地域づくりに向けた様々な取組を推進しています。

## ■概要

### 【主な取組のご紹介】

#### ①ダム貯蔵食材・ダム貯蔵酒のプロデュース

年間を通して気温が一定しているダム内部の環境を活かして、宮ヶ瀬ダム監査廊内に、地元酒蔵の日本酒や農産品等の食材を貯蔵し、「宮ヶ瀬ダム貯蔵」という新しい価値を加えることにより、魅力ある名産品を創り出す取組を進めています。

#### ②宮ヶ瀬グッズ等のプロデュース

神社仏閣などの「御朱印」やお城で販売される「御城印」のダム版である「宮ヶ瀬ダム御堰印」や「宮ヶ瀬ダム手ぬぐい」などを作成、販売しているほか、自分で制作した和紙に愛川町の御城印を押印できる体験を提供するなど、宮ヶ瀬ダムや歴史遺産、伝統工芸といった周辺地域の観光資源を活用したご当地土産をプロデュースし、宮ヶ瀬湖周辺地域のPRや観光消費額増加に取り組んでいます。

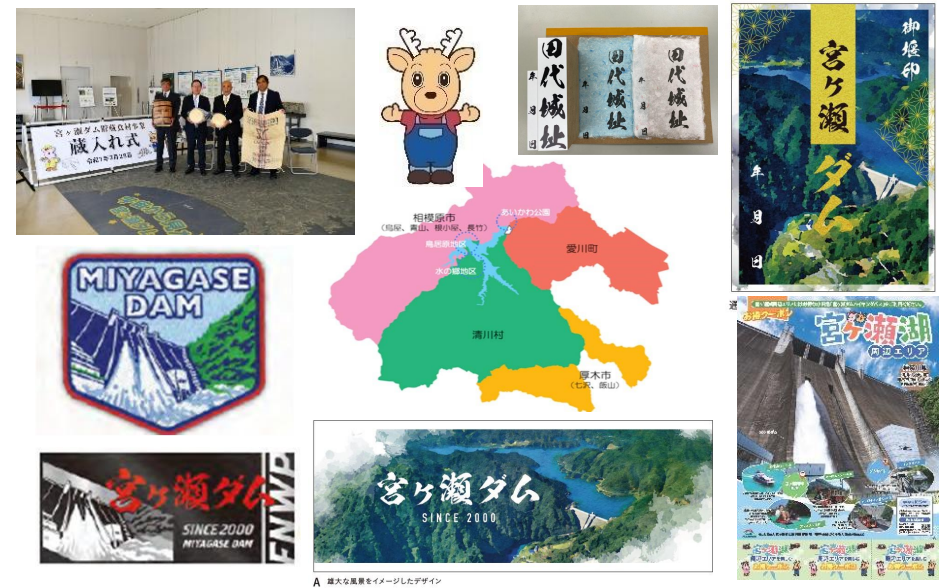
#### ③地域クーポンの発行

事業者の皆様の協力のもと、DMOエリア内の店舗、施設などで優待を受けられる「宮ヶ瀬湖周辺エリアお得クーポン」を発行し、各施設や小田急本厚木駅等で配布を行うことで、周辺地域への集客や周遊の促進に取り組んでいます。

※上記の他、地域イベントと連携した取り組みや宮ヶ瀬周辺エリアの観光資源を巡るツアーの実施など、様々な取組を進めています。

## ■施策イメージ

見つけた人からくせになる。都心から近い水源地宮ヶ瀬



### ■関連URL

<https://www.miyagase.or.jp>

### ■担当部署

部署名：公益財団法人宮ヶ瀬ダム周辺地域振興財団 企画振興課  
連絡先：046-288-3600 (代)

岐阜県飛騨市では、「人口減少下でも心豊かに楽しく暮らせるまち」を目指して、2017年から「関係人口」に着目したまちづくりを進めています。「飛騨市ファンクラブ」や「ヒダスケ！-飛騨市の関係案内所」の取り組みを中心に、飛騨市に心を寄せてくださる方々との交流を促進し、まちへの誇りと愛着の醸成を図り、持続可能なまちづくりを実践しています。

## ■取組概要

### ▶ 飛騨市ファンクラブ

飛騨市に心を寄せてくださる方々につながり、集い、語り、飛騨市を更に楽しむためのコミュニティとして2017年1月に設立。会員数は現在1.8万人を突破。会員特典や交流イベント、部活動など様々な企画を通じて、会員が自分のスタイルで飛騨市と多様に関わることができる機会を提供している。



飛騨市ファンの集い(交流イベント)



部活動(地域資源をテーマに会員同士が交流)

### ▶ ヒダスケ！-飛騨市の関係案内所

市内の困りごとをプログラム化し、楽しく交流をしながら助け合いを生み出すプロジェクト。2020年4月からスタートし、これまでに実施したプログラム数は500以上、累計参加者数は6,000人を超える。地域内外の交流により賑わいが生まれ、地域の魅力を維持する原動力へとつながっている。



ヒダスケ！事業スキーム

## ■サイトURL

- ▶ 飛騨市ファンクラブ : <https://www.city.hida.gifu.jp/site/fanclub/>
- ▶ ヒダスケ！-飛騨市の関係案内所 : <https://hidasuke.com/>

## ■担当部署

部署名：飛騨市役所 ふるさと応援課  
連絡先：(0577) 62-8904 メール：furusato@city.hida.lg.jp

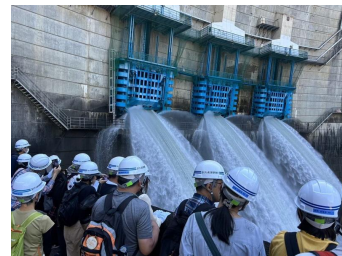
市の中心を流れる宇治川や世界遺産の平等院など、美しい自然環境と豊かな歴史・文化遺産に恵まれた都市である宇治市には、観光の中心地から徒歩で行くことができる「天ヶ瀬ダム」がある。宇治市では「宇治市天ヶ瀬ダムかわまちづくり計画」に基づき、夏の風物詩である宇治川の鶺鴒に加え、ダム体感ツアーなど、天ヶ瀬ダム周辺及び宇治橋周辺の観光資源を活かした広域的な周遊観光を目指した取組を進めている。

## ■令和7年度までの取組概要

### ●天ヶ瀬ダムツアーの開催

管理支所や観光放流の見学に加え、ダム堤体の点検用通路であるキャットウォークや、ダム堤頂部を歩くことができるツアー。

(企画・実施)宇治市観光協会  
(協力)淀川ダム統合管理事務所



観光放流の見学

### ●ダム夜間ライトアップ

夜間イベントでダムのライトアップを実施。

(主催)京の七夕 in Uji実行委員会  
(協力)淀川ダム統合管理事務所



ダムライトアップ

### ●Eボート川下り

天ヶ瀬ダム付近から宇治川を下るEボート川下りツアーを実施。

(主催)アオキカヌーワークス



Eボート川下り

## ■今後の展開

### ●ダム周辺の整備

- ・ 左岸側に展望スポット及び広場、駐車場等を整備（令和8年秋完成予定）
- ・ 右岸側にダム直下の芝生広場や展望広場を整備予定



左岸側イメージ



右岸側イメージ

### ●宇治川・天ヶ瀬ダム活性化協議会の開催

天ヶ瀬ダム周辺の観光資源を活かした広域的な周遊観光の活性化を目指し、地域の合意形成や民間企業と行政が連携した取組を推進することを目的として開催。

## ■関連URL

<https://www.city.uji.kyoto.jp/soshiki/24/73558.html>

## ■担当部署

部署名：宇治市 産業観光部 観光振興課  
連絡先：（0774）39-9408 メール：kankoushinkouka@city.uji.kyoto.jp

安芸太田町の温井(ぬくい)地区では、アーチ式ダムとしては日本2番目の高さ156mを誇る温井ダムを有しており、これまでダム湖面を活用したウォーターアクティビティやグランピング施設の運営など、ダム周辺の賑わい創出に取り組んできました。更には、中国地方で初となるインフラツーリズム魅力倍増プロジェクトに選定されたことを受け、ダム堤体の非公開エリア等を活用した、ガイドツアーの社会実験に令和7年10月より取り組んでいます。

## ■温井エリアでの周辺状況

### ①湖面を活用したウォーターアクティビティ

ダム湖である龍姫湖では、令和4年9月からウエイクサーフィンやSUP等の、湖面を活用した社会実験を実施。令和7年度より湖面がオープン化され、事業を本格始動しています。(年間約900名)



### ②非公開エリアを含めた温井ダムツアー

令和7年10月より、ダム堤体の非公開のエリアを含めたガイドツアーや、間近での放流見学を試験的に実施し、特別な体験時間を提供しています。今後はガイドエリアを拡大し、ガイドコースの充実を図り、オープン化を目指します。



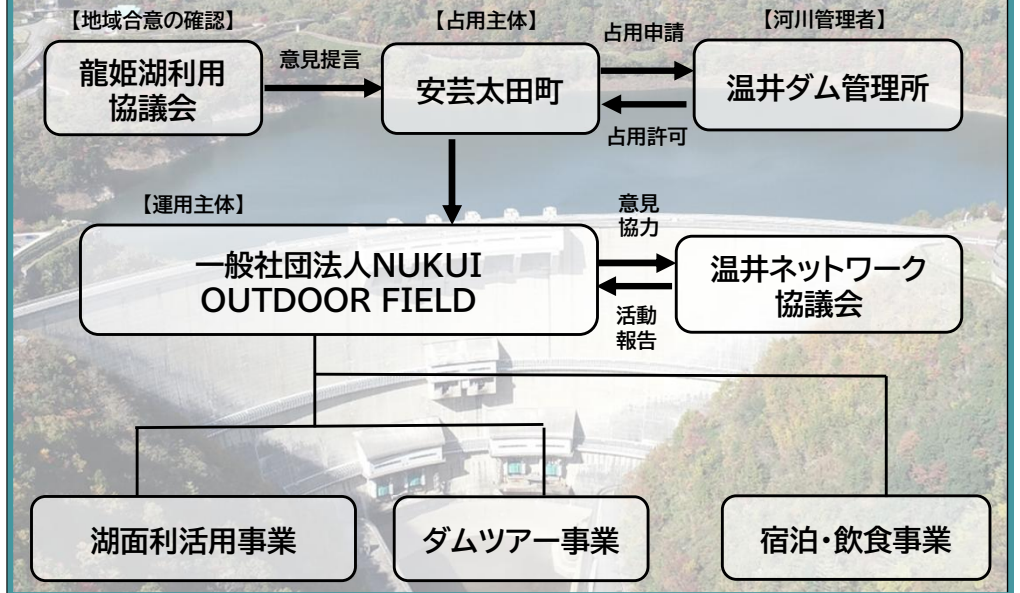
### ③犬に特化したグランピング施設の運営

ドッグラン施設や犬との宿泊を可能にしていることや、春と秋に犬まつりイベント等を開催し、犬愛好家の方々を中心に人気を得ています。



## ■連携イメージ

### 【温井ダム・龍姫湖 オープン化管理運営スキーム】




### ■関連URL

<https://nukui-outdoorfield.jp/>  
<https://lakeriyuki-wc.com/> <https://www.nukui-glamping.com/>

### ■担当部署

部署名: 安芸太田町 道の駅推進チーム  
 連絡先: (0826)28-1961 メール: michinoeki@town.akiota.lg.jp

- 香川県は、県内の水道用水の約半分、農業用水の約3割を香川用水に依存
- 香川用水は、高知県・徳島県を水源とする吉野川から導水  水源地域の恩恵は計り知れない
- 香川用水の重要性を改めて理解し、感謝するため、水源地や施設を見学するバスツアー等を実施
- このほか、小中学生の見学学習支援として「香川用水県外水源地学習事業」を実施

## ■香川用水施設見学バスツアー

### 💧水源地見学コース R7.7.26(43人)、10.11 (21人)



早明浦ダム



特産品のBBQ

- 再生事業実施中の早明浦ダムを見学
- 水源の水に親しむ体験活動、水源地特産品のBBQ

### 💧重要施設見学コース R7.11.22(16人)、11.29(13人)



池田ダム



ジオラフト体験

- 池田ダム・香川用水取水工を見学
- 水源の水に親しむ体験活動、香川用水記念公園で歴史を学習

### 💧参加者の感想

- どしどし有料インフラツアーをつくってほしい。
- ばく然としていた香川用水のしくみが良くわかりました。
- 子供がとても興味をもって熱心に聞いていて勉強になりました。
- 継続して開催してほしい。



香川用水取水工

## ■香川用水県外水源地学習事業



### 💧概要

- 対象者：小学4年生・中学1年生
- 早明浦ダムや池田ダムを含む香川用水関連施設を巡る見学学習に対する支援  
R7 中学校9校816人、小学校30校1,147人  
(オンライン授業：小学校17校1,069人)

### 💧参加者の感想

- 香川の「命の水」を守る方々の存在と大変さを知り、感謝の気持ちが生まれた。

### ■担当部署

部署名：香川県政策部水資源対策課  
連絡先：087-832-3128 メール：mizusigen@pref.kagawa.lg.jp  
URL：https://www.pref.kagawa.lg.jp/mizusigen/mizu/kfvn.html

宿毛市は、中筋川ダム、横瀬川ダム2ダム等を活用した地域活動等へ取り組むダム利活用調整協議会及びダム活元気ネットワークの一員として、構成メンバーと連携しながら各種取組を実施している。その中でも横瀬川ダムには、日本初となるダム壁面を活用したクライミングウォール(令和2年3月完成)を設置し、(一社)宿毛市観光協会と連携しながら観光資源の一つとして活用している。

## ■概要

- 宿毛市には、中筋川ダム・横瀬川ダムのほか高知県管理の坂本ダムがあり、この3つのダム周辺にはキャンプや川遊びなど豊かな自然環境を満喫できる公園が整備されている。
- 令和6年8月に登録となった「中筋川流域かわまちづくり」の実証実験として、「炭焼き体験」「アユのつかみ取り」「クライミングフリーデー」などのイベントが実施されたほか、例年実施している「蛍湖まつり」にも参加し、ダム及び関連施設の観光資源化を推進している。
- 宿毛市自転車を活用したまちづくり計画を推進する中で、ダム周辺の魅力ある自然景観を活かしたサイクルイベントである「すくもグラベルまんぷくライド」や愛媛県愛南町と連携した「サイクルコネクト」を実施しており、本年は、全国シクロサミットと連携したイベントとして実施予定。
- ダムクライミング施設を設置している横瀬川ダム周辺の施設整備はこれからとなっており、本格的な観光資源としての活用を見据えてソフト事業等を検討している。

## ■活用状況

クライミングの様子。



## ■関連URL

<https://www.city.sukumo.kochi.jp/docs-18/18068.html>

## ■担当部署

部署名：宿毛市 商工観光課  
連絡先：(0880) 62-1242 メール：kanko@city.sukumo.lg.jp

○11月23日(日) 第3回鶴田ダム秋の大鶴湖まつりを開催しました。点検放流や堤体内見学などメニューを充実させ参加された方に大変好評でした。今後も、通常のダム見学とあわせて、秋の奥薩摩の名物行事として関係者と連携しながら、地域振興・活躍の場の創出・防災力強化を目標に継続していきます。



放流見学



国交省テック服体験

New



壁面工事の足場を利用したライトアップ



堤体内見学



記念カード配布



New

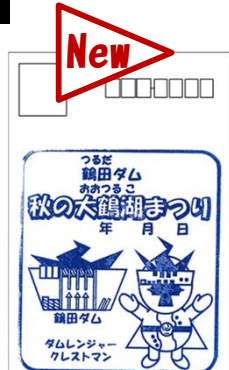
御貯印カード作成販売

当日の御貯印購入者への記念  
スタンプ押印体験の提供



←通常時は、大鶴ゆうゆう館レストランにて販売

(1枚200円・全8種)



New

- 参加者数：約400名 (堤体内見学、ダム放流見学、操作室見学)
- 主催者：大鶴湖(鶴田ダム湖)インフラツーリズム関係者会議  
(鶴田ダム管理所、川内川河川事務所、さつま町、伊佐市、電源開発株、  
NPOひっ翔べ!奥さつま探険隊、NPOバイオマスワークあったらし会、NPO水と地球、伊佐の風)

関係URL : <https://www.qsr.mlit.go.jp/turuta/>  
担当部署 : 鶴田ダム管理所連絡先 : 0996-59-2030

2026年度に鶴田ダムは管理開始60周年を迎えます!



鶴田ダムインフラツーリズム



鶴田ダム管理所